

企業ニーズ調査等に伴う制御技術科授業カリキュラム変更の卒業生・企業調査 [1]

制御技術科 職員一同
(リーダー:橋本勝徳)

1 はじめに

本研究の目的は、卒業生および就職先企業に対し、アンケート調査をすることにより、現行の制御技術科について検証を行い、就職先企業、入科者および入科希望者において、魅力のある制御技術科のあり方について、検討および改善を図っていく。

本年度は、3年計画で実施する1年目である。

2 概要

制御技術科の卒業生に対し、科で学んだ「知識」・「技術」・「技能」などがどのように「仕事」に役立っているか、役立っていないかなどを調査する。

また、就職先企業には、科のカリキュラムが、企業において期待する人物像となるものかなど調査する。

アンケート調査で得られた貴重な意見を踏まえ、令和3年度よりカリキュラムの検討を始める。

平成28年度に行われた企業ニーズ調査による、企業からの意見を基に、中核人材育成の寄与として、科では、平成29年度から、機械工学実験Ⅰ・Ⅱ、CAD実習、数値制御実習および電気・電子系や情報系など、軽微な変更も併せて10教科程度においてカリキュラムの内容を変更して授業展開をしている。

また、企業ニーズ調査が行われる以前より、科の特性を最大限に生かすことを目的に、2年生の選択授業として、機械系、電気・電子系、情報系および制御系に分けた授業展開をしている。

これらの変更が、卒業生にとってどのような効果があったのか、また、就職先企業がどのように卒業生を評価しているのかなどを調査し、今後の科のあり方について、検討および改善を図っていくものである。

本年度は、調査用アンケートの内容検討を行い、同時にアンケート調査を依頼する就職先企業の検討を行った。

また、一部の就職先企業においては、アンケートに協力いただけるかの確認も先行して行った。併せて、もう一つの目的でもある、来年度から入校が予定されている外国人留学生の受け入れが可能であるか、確認も行った。

3 研究効果

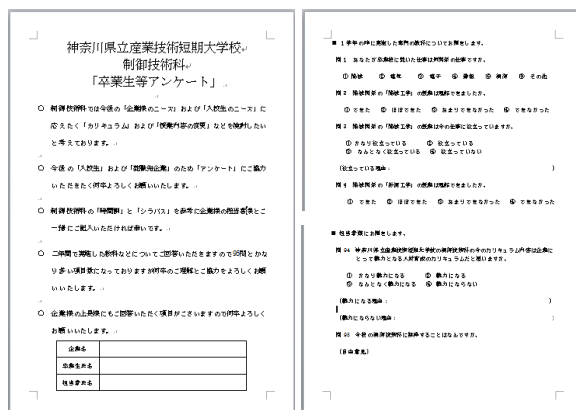
アンケートの内容検討、および、アンケート対象企業の検討は、次のとおりである。

3.1 アンケート内容検討

アンケートの検討について、どのようなアンケートが今後の科のあり方にとって有効であるか、アンケートの記入について、卒業生や企業の担当者から問題なく理解と協力が得られるかなど、科の全職員で幾度かのディスカッションを行った。

結果、項目数はかなりのボリュームとなるが、教科ごとの項目にすることが有効であるとの見解となり、選択式と記述式により調査を行うこととした。

調査については、就職先企業に在職している卒業生とその上長などに依頼をする。



卒業生等アンケートの一部

3.2 アンケート対象企業の検討

アンケート調査を依頼する就職先企業の検討については、平成29年度にカリキュラムの内容を変更して展開した授業を受講している卒業生がよいとの見解から、平成29年度の卒業生が、今まだ在職している企業に依頼することにした。

また、本年度に企業実習の際に訪問した企業においては、現況の卒業生や科の取り組みにより評価をいただいております。アンケート調査にも協力をいただけたことのであった。

また、外国人留学生の受け入れについては、「特に問題はない」との回答をいただいた。

4 おわりに

来年度実施予定のアンケート調査について、項目数が多く、企業側から敬遠されてしまう懸念はあるが、丁寧な対応を心がけ、回収率を上げていきたい。

過去からの信頼関係と懇切丁寧な説明と訪問調査により、理解と協力が得られるのではないかと考える。